

第35回法人会全国大会鳥取大会経過報告

1. 開催日 平成30年10月11日(木)
2. 開催場所 鳥取県 とりぎん文化会館 ホテルニューオータニ鳥取(懇親会)
3. 主催 公益財団法人 全国法人会総連合
4. 主管 一般社団法人 鳥取県法人会連合会
5. 参加人数 410会 1,617名(内北海道144名)

第1部 記念講演会 14:00~15:00

演題「大山どりの奇跡」～35歳、どん底からの挑戦～

講師 株式会社 大山どり 代表取締役 島原 道範 氏

第2部 式典 15:20~16:30

- ①開会の辞
- ②国歌斉唱
- ③来賓紹介
- ④主催者挨拶(小林会長)
- ⑤来賓祝辞(藤井国税庁長官、平井鳥取知事、深澤鳥取副市長)
- ⑥表彰状贈呈
- ⑦税制改正提言の報告(柳田税制委員長)
- ⑧青年部会による租税教育活動の報告
- ⑨大会宣言
- ⑩閉会の辞

第3部 懇親会 17:15~18:15

平成30年度税制改正スローガン

- ・財政健全化は国家的課題。目標の早期達成に向けて全力を！
- ・少子高齢化の急速な進行は不可避。社会構造変化に対応した社会保障制度の確立を！
- ・中小企業向け税制措置を拡充し、真の経済再生を！
- ・中小企業は雇用の担い手。事業承継税制の改革は地方活性化のためにも重要！

大会宣言

われわれ法人会は、「税のオピニオンリーダーたる経営者の団体」として、「税制改正に関する提言」や租税教育、企業の税務コンプライアンス向上に資する取組など、税を中心とする活動を積極的に展開しながら、広く社会へ貢献していくこととしている。

現在、わが国経済は、好調な企業業績などを背景に緩やかな拡大基調を続けているが、自律的で力強い好循環に入ったとは言い難い。一方、国際経済面では、アメリカの保護主義的政策が各国との経済摩擦に発展しており、我が国にとっても看過できないリスクとなっている。

財政健全化は国家的課題である。消費税率引き上げの再延期に伴い、プライマリーバランス黒字化目標の達成時期が大幅に延期されたが、持続可能な社会保障制度と財政健全化の両立を目指した「社会保障と税の一体改革」の理念に立ち帰り、歳出・歳入の一体改革を着実に実行することが極めて重要である。

中小企業は、地域経済の活性化や雇用の確保に大きく貢献しており、我が国経済の礎である。グローバル経済や厳しい環境変化に対応し、中小企業の力強い成長を促す税制の確立が不可欠である。

われわれ法人会は、「中小企業の活性化に資する税制」、「本格的な事業承継税制の創設」等を中心とする「平成31年度生成改正に関する提言」の実現を強く求めるものである。

創設以来、納税意識の向上に努めてきた法人会は、ここ鳥取の地で全国の会員企業の総意として、以上宣言する。